

# 京都教育大学附属京都小中学校

(様式 4-2 : 平成 30 年度 モビリティ・マネジメント教育 (交通環境学習) にかかわる学校支援制度  
実施結果報告書)

## 実施結果報告書

1. 学習名称 : 中等部 (5・6・7年生) 総合的な学習					
2. テーマ : 京都の魅力とこれからのまちづくりを考える					
3. 実施教科 : 総合学習					
4. 関連単元 :					
5. 実施単元数 : 18 時間					
6. 学年	5・6・7	7. クラス数	9	8. 生徒数	275名
9. 実施内容 <p>「京都の魅力とこれからのまちづくりを考える」という課題の解決に向けて、まずは京都のまちの中に潜むユニバーサルデザインを一つの視点とした。これは、課題だけを提示し、「探究活動をしなさい」ではあまりにも範囲が広く、限られた時間で課題解決に向かうことが難しいと考えたからである。まちに潜むユニバーサルデザインに気付き、意識することで、京都にはまだまだ多くのバリアーが存在することや、観光都市京都をさらなる世界都市にするためには、そのバリアーの減らしていくまちづくりが必要であることに生徒達は気付き、その改善策を考えていくはずである。さらには、まちの交通に意識を向けさせ、日常利用している交通から「人や社会にやさしいまちづくり」についても探究させることにした。日常生活を送る上で、普段何気に接しているであろう、ユニバーサルデザインや交通に意識を向けさせることで、それらを視点として「京都の魅力とこれからのまちづくりを考える」という範囲の広い課題に対して、その解決を図らせた。</p> <p>さらに、5～7年(小5～中1)の生徒たちが、調べた内容や考えたことを持ち寄り、異学年合同で探究を深めていくことで、一層社会に目を向け、自らがその一員であることの自覚を持ち、より良い地域や社会を創造するために活動できる力の素地を育成し、「生きる力」の伸長を目指した。</p>					

## 10. 学習のながれ：

5～7月を前期（1回～4回），8月の夏季休業中は課題での活動，9～11月（5回～9回）を後期と区分してそれぞれに課題を設定し，探究活動を行わせた。

前期では，テーマを「まちに潜むユニバーサルデザインを探る」とし，京都のまちに潜むユニバーサルデザインを探しながら，バリアーの無い街づくりには何が必要かを考え，京都をさらに魅力的な観光都市にするにはどうすればいいのかをユニバーサルデザインを視点として考えさせた。ここでは，発達段階の違いによる知識に大きな差があるため，テーマについて各学年に分け，担任が発達段階に沿った学習活動を行った。学習活動を進めるにあたり，ユニバーサルデザインに関してより詳しく学ばせる必要があったため，京都市のユニバーサルデザインアドバイザー派遣制度を活用し，嵯峨美術短期大学美術科の坂田岳彦教授を招き，ユニバーサルデザインに関する講義をしていただいた。その学びを土台として，ユニバーサルデザインに関する探究を深め，前期のまとめとして，前期最後の授業で，京都市主催の「みやこユニバーサルデザイン賞」への応募作品を考えさせた。京都市では，ユニバーサルデザインの考え方を京都の生活文化に取り入れた，全ての人が暮らしやすい社会環境づくりを「みやこユニバーサルデザイン」と規定しており，その社会環境づくりに少しでも関わることができるのではないかと考え，また，学習したユニバーサルデザインのアウトプットになるのではないかと考え，「みやこユニバーサルデザイン賞」への参加を，今年度の総合的な学習で初めて試みた。

夏季休業中の活動では，「京都のまちづくり」という課題を与え，「京都のまちの魅力」，「まちをさらに魅力的にするためにはどうすれば良いのか」，さらには前期で学んだユニバーサルデザインをいかして，まちに潜むユニバーサルデザインを調べたり，逆にユニバーサルデザインが必要な場所などを調べさせたりし，それらをまとめたリーフレットの作成を行わせた。後期は，5年～7年で男女混合4人グループ（各学年1～2名，男女2名ずつ）を67グループ作り，1教室に7～8グループを配置し，夏までに学習したことや，夏季休業中に作成したリーフレットを各グループで持ち寄せ，「京都の魅力とこれからのまちづくり」を課題として，異学年で調べ学習や探究活動をさせた。そして，グループの中で考えたり，話し合ったりした内容を模造紙にまとめさせ，後期の最終目標であるポスターセッションに向けて，ポスター作りをさせた。その際，共通課題として，「京都における交通事情やその問題，改善策」は，各グループで必ず1つは取り上げるようにさせた。これは，身近な課題について考えさせることが目的の1つであるが，全班が共通課題を持つことによって，ポスターセッション時により深い探究が可能であると考えたからである。最終のポスターセッションでは，発表班のメンバーが，ポスターを用いながらこれまでの探究内容を5分で説明し，その後，質疑応答の時間を取った。また，発表する班以外の生徒達は，発表に関しての考察や感想を記録させた。

\*詳細については，別添の冊子を参照にしてください。

※学習で使用した教材やワークシート、学習風景を撮影したビデオや写真、指導計画書などを添付して提出してください。